

対象年度	令和 7年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名	結城蔵美館運営事業						予算事業名	結城蔵美館運営経費		
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			07	01	05	1501	経常経費			
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分	主要事業		
	地域資源を活用したにぎわいと交流の促進									
	地域資源を活用した観光の振興						担当課係等	商工観光課 観光係		
事業期間	継続 (年度～ 年度)									
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
本市の歴史・芸術文化の情報発信拠点として観光振興の一翼を担う。						平成24年度に見世蔵が市に寄贈され、芸術作品や歴史資料の展示施設として改修し、平成26年度に「結城蔵美館」として開館した。				
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】						【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】				
本蔵における本市ゆかりの芸術家の作品展、袖蔵における本市の歴史文化資料の公開という形式が完成している。 2019年度より、本市及び近隣市町にゆかりのある作家へと範囲を拡大し、幅広い分野で芸術作品を展示していく。						観光客及び市民				
						【事業をとりまく環境の変化】				
						市全体としての観光振興を図るうえで民間施設との差別化が重要になっている。				
【令和 7年度 事業内容】			【令和 8年度 事業内容】			【令和 9年度 事業内容】				
絵画、書、陶芸等の芸術作品の展示 スポットライト購入 (482) 本蔵引き戸修繕 (300) 防犯カメラ3基 (295)			絵画、書、陶芸等の芸術作品の展示 本蔵内壁面塗装 (500) 本蔵内カーペット仕上げ (1,400) エアコンメンテ・清掃 (100)			絵画、書、陶芸等の芸術作品の展示 外壁木部保護塗装 (500) エアコン交換 (400)				

■事業費

		R05年度	R06年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	1,603	1,491			
歳入計（千円）		1,603	1,491			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	10 需用費	864	819			
	11 役務費	136	142			
	12 委託料	268	278			
	13 使用料及び賃借料	252	252			
	17 備品購入費	83	0			
歳出計（千円）（A）		1,603	1,491			
伸び率（％）			-6.98			
備考	総合計画92ページ 予算書143ページ					

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	開館日数	日	目標	307.00	307.00	307.00
	基本開館日数を307日（365日－（週休52日＋年末年始休6日））と定義		実績	307.00	0.00	0.00
	展示作家数	組	目標	12.00	12.00	12.00
	本蔵のみ。市の企画展も含む		実績	12.00	0.00	0.00
成果 指標	来館者数	人	目標	25,000.00	25,000.00	25,000.00
			実績	185,670.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	御手杵の槍の展示や、企画展の実施状況から、観光誘客を行う上での重要な拠点と考えられる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	御手杵の槍を所有することや、企画展を実施していくうえで、行政が行うことは妥当と思われる。
	手段の妥当性	A 妥当である	展示企画の決定方法は、審議委員会を開催するなど妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	経年劣化により、施設の維持管理に費用が掛かりだしている。人件費は抑えられている。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	観光施設であるが、誘客による経済効果を鑑みると、一概に偏っているとは言えない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	創意工夫により、より一層の誘客がなされる可能性がある。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	安定した開館が図られている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
日本三名槍である「御手杵」の展示施設として定着している。開館後10年を過ぎ、今後は経年劣化による維持管理費用が問題となると予想される。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
「御手杵」を本市独自の貴重な観光資源ととらえ、観光誘客事業の拠点となるべく磨き上げを行い、今後も活用を図ってまいります。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容 毎月の作家については、空けることがなく、順調な運営をしている。しかし、改修して10年が経ち、修繕しなければならない箇所が散見されることから、状況を見ながら改修の時期を検討する必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	